

令和5年度第2回記者懇談会

日 時：令和5年5月16日（火）

午後2時

場 所：市役所 政策会議室

【 次 第 】

1 開 会

2 議 事

(1) 市長からの話題提供等について

【資料1】

(2) 大船渡記者クラブから

ア 津波発生時の「車避難」について

イ 新たな津波防災マップの作成、配布状況等について

ウ 全国植樹祭について

エ ゴールデンウィーク中の市内のにぎわいについて

オ 副市長人事について

3 その他

4 閉 会

※次回開催予定 7月（開催日は後日ご連絡いたします。）

【担当】

陸前高田市 政策推進室

電話：0192-54-2111（内線333）

Mail：seisaku@city.rikuzentakata.iwate.jp

市長からの話題提供等について

- 令和 5 年度陸前高田市防災マイスター養成講座の開講
地域における防災リーダーとして活躍できる人材を育成するため防災の専門家等による講座を開講するもの。マイスター認定者活動組織の立ち上げも準備中。

- チャレンジデー 2023 の開催

記者懇談会資料
令和5年5月16日（火）
防災局防災課
（電話：54-2111 内線 701）

令和5年度陸前高田市防災マイスター養成講座の開講について

本事業は、地域における防災リーダーとして活躍できる人材を育成するため、本市独自の取組みとして、平成30年度から実施しているところであり、今年度においても、下記のとおり、実施いたします。

記

1 内容

- (1) 対象者
市内在住、在勤又は在学の中学生以上の方。定員50人（先着）
- (2) 受講料
無料
- (3) 開催日程
令和5年5月～11月の最終日曜日、12月17日
午後1時30分～午後4時30分
- (4) 開催場所
陸前高田市コミュニティホールほか
- (5) カリキュラム等
別添チラシのとおり
- (6) 修了条件
全15単位のうち、11単位以上を取得した方とします。

2 申込方法

受講申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メール又は持参により、5月24日（水）までに防災課まで申し込むものとします。

3 開講式

令和5年5月28日（日）13：30から、陸前高田市コミュニティホール大会議室で行います。

4 これまでの認定者数

平成30年度：41名、令和元年度：11名、令和3年度28名、令和4年度20名
合計100名（男女内訳 男性51名、女性49名）

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止

5 その他

(1) 認定後の活動

マイスター認定者で、活動登録いただいた方については、地域や学校等からの依頼により、防災講座等の講師、防災に関するアドバイザーとして活動していただいております。現在の活動登録者数は、50名です。

(2) マイスター認定者活動組織（仮称：集いの会）について

マイスター認定者同士の情報共有や、認定者同士の連携による防災の取組みの活性化等を図るため、認定者活動組織の立ち上げに向けて、準備を進めております。

いざという時のために、地域を守る防災リーダーになろう！

令和5年度 陸前高田市 防災マイスター養成講座

将来の大規模災害の発生に備え、防災に関する知識や技術を習得し、地域における防災リーダーとして活躍できる人材「陸前高田市防災マイスター」を養成するため、防災の専門家や市職員等による講座を開講します。

対象者 市内在住、在勤または在学の中学生以上の方

募集人数 50人（先着順）

受講料 無料

日時 講座カリキュラムのとおり 午後1時30分～午後4時30分

場所 陸前高田市コミュニティホール（高田町字栃ヶ沢210-3）
2階 大会議室 ほか

申込方法 「受講申込書」に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メール又は持参により防災課（陸前高田市消防防災センター2F）までご提出ください。

申込期限 令和5年5月24日（水）必着

その他 全15単位のうち、11単位以上修得した方に、「陸前高田市防災マイスター」として認定書を授与します。
※やむを得ない事情を除き、30分以上の遅刻は欠席扱いとします。

<申込先>

- ①郵送 〒029-2205
陸前高田市高田町字栃ヶ沢210-2
- ②FAX (0192) 55-2648
- ③電子メール bousai@city.rikuzentakata.iwate.jp

<問合せ先>

陸前高田市防災局防災課 担当：五十川 いそがわ
TEL (0192) 54-2111（内線703）



講座カリキュラム

講座名	内容	講師	開講日
(開講式)	あいさつ、オリエンテーション	市長	
①基調講演	ハザードマップの正しい見方を理解し、防災対策に役立てる。	静岡大学 防災総合センター 牛山 素行 教授	第1回 5月28日(日)
②気象情報について	気象情報を理解するための知識を学ぶ。	盛岡地方気象台職員	第2回 6月25日(日)
③避難情報	避難情報の内容を正しく理解し、適切な避難行動について学ぶ。	市防災課職員	
④土砂災害への備え	近年、全国で多発する土砂災害の特性を学ぶ。	岩手大学名誉教授 土砂災害防止広報センター 井良沢 道也 理事	第3回 7月30日(日)
⑤クロスロード	災害発生時には多様な考えや意見を持つ人が現れるが、その時どう判断するか、ゲームを通して考える。	市防災課職員 市防災マイスター	
⑥東日本大震災津波伝承館見学	東日本大震災津波伝承館を見学し、津波災害の教訓について学ぶ。	東日本大震災津波伝承館 解説員	第4回 8月27日(日)
⑦防災施設見学	海岸保全施設である、防潮堤や水門などを見学し、ハード整備による災害対策について学ぶ。	大船渡土木センター 河川港湾課職員	
⑧避難所運営ゲーム(HUG) ※2単位	ゲームを通して、避難所運営方法について学ぶ。	市防災課職員 市防災マイスター	第5回 9月24日(日)
⑨やさしい日本語	外国人などに正しい情報を伝えられる日本語の表現について学ぶ。	岩手大学 国際教育センター 松岡 洋子 教授	第6回 10月29日(日)
⑩防災リーダーの役割	地域で活躍する防災リーダーの人物像について考える。	岩手大学 地域防災研究センター 福留 邦洋 教授	
⑪救命講習 ※2単位	AEDの使用法や止血法等、緊急時の応急処置について学ぶ。	市消防署職員	第7回 11月26日(日)
⑫災害時の行動心理	災害時の行動心理を学び、適切な避難行動について学ぶ。	東京大学大学院 情報学環附属総合防災 情報研究センター 関谷 直也 准教授	第8回 12月17日(日)
⑬確認テスト	各講座のポイントの再確認を目的としたテストを行う。	市防災課職員	
(閉講式)	マイスター認定書の授与等	市長	

※ 1講座あたり75分(⑧・⑪は2講座分150分)を予定しています。

※ ①～⑬の講座を出席するたびに、1単位(⑧・⑪は2単位)を認定します。

※ やむを得ず、講座内容及び講師が変更となる場合があります。



記者懇談会資料
令和5年5月16日(火)

ゴールデンウィークの観光入込数について（追記）

本市の主要観光施設の入込数は、新型コロナウイルス対策の緩和で旅行が盛んになったことにより、全施設において昨年以上の賑わいを見せました。

各施設の入込数は、下記のとおり。

記

1 観光入込数

単位（人）

月 日	道の駅高田松原	市民の森	黒崎温泉保養センター	玉乃湯	博物館※
4月29日(土)	3,800	55	154	57	210
4月30日(日)	4,400	14	217	74	624
5月1日(月)	3,700	7	143	41	—
5月2日(火)	4,000	42	142	—	153
5月3日(水)	7,800	201	219	119	519
5月4日(木)	9,500	362	409	116	823
5月5日(金)	8,500	1,281	273	104	732
5月6日(土)	5,600	44	192	53	566
5月7日(日)	2,600	5	122	75	394
計	49,900	2,011	1,871	639	4,021
1日平均	5,544	223	207	79	502
(令和4年)	50,700	1,816	1,791	685	—
(1日平均)	5,070	181	179	68	—

※GWの日数は、令和4年は4/29～5/8の10日間、令和5年が4/29～5/7の9日間。

※令和5年の玉乃湯の開館日数は、8日間。

※記者懇談会後に追記

2 道の駅高田松原来場者200万人達成について

令和5年5月2日に開館以来（令和元年9月）、累計で200万人を達成しました。

年 度	来場者数（人）	累 計（人）
令和元年度	395,400	395,400
令和2年度	411,440	806,840
令和3年度	521,960	1,328,800
令和4年度	605,100	1,933,900

※令和元年度は9月～3月の約7ヵ月間。

【テーマ1】

津波発生時の「車避難」について、大槌町は計画を改定し避難先を限定した上で全町民に車避難を認める方針を示したが貴市の認識は？

【テーマ2】

新たな津波防災マップについて作成や配布状況は？
また市民向け説明会やワークショップなどの予定は？

【テーマ3】

来月の全国植樹祭を貴市ではどのような機会と捉えているか？

【テーマ4】

GW期間中の市内のにぎわいをどのように感じたか？

【テーマ5】

空席になっている副市長人事について